

令和 6 年度

## 教育委員会点検・評価報告書



「横小まつり 10.26」 「金中祭 10.27」 「金小フェスティバル 11.2」

令和 7 年 3 月

金山町教育委員会

# はじめに

金山町では、2021年から2030年までの10年間を期間とする第五次金山町総合計画を策定しています。そのまちづくりのキャッチフレーズである「自然の恵みと 笑顔あふれる かねやま～思いやり 支えあいのまち～」を目指し、基本目標3の「自然と共生し郷土を愛するひとづくり（教育・文化）」に基づき、金山町の教育目標を「郷土を担う心豊かな人間の育成」としました。

そして、令和6年度金山町教育委員会重点施策を四つの基本目標である「郷土を担う個性豊かでたくましい青少年の育成（学校教育）」「生きがい に満ちた生涯学習の充実（生涯学習）」「町民の活力を育む生涯スポーツ活動の充実（生涯スポーツ）」「次世代につなぐ伝統文化の振興（伝統文化）」と設定し、さらに、主要施策を学校教育で9点、生涯学習では7点、生涯スポーツでは5点、伝統文化では5点を掲げて取り組んで参りました。

教育委員会の点検・評価については、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が公布され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況及び金山町教育委員会重点施策の二つの面にしぼり、点検・評価者は、教育行政外部評価委員会を設置し、委員には学識経験を有する方をお願いし、意見を聴取するとともに、教育委員会事務局が点検・評価を行いました。

平成20年度実施から17年目となる令和6年度点検・評価の報告書ができあがりましたので、金山町議会に報告しますとともに、広く町民の皆様にお知らせします。町民の皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら、令和7年度以降の金山町教育行政の一層の充実と発展に役立てていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和7年3月

金山町教育委員会

# 目 次

## I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員と任期 -----	1
2. 教育委員会の開催状況 -----	1
3. 教育委員会の開催日及び審議内容 -----	1
4. 教育委員の主な活動 -----	3
5. 教育委員会広報活動 -----	4
6. 教育委員会事務局体制 -----	4
7. 活動の反省と今後に向けて -----	4

## II 教育委員会重点施策点検・評価

1. 郷土を担う個性豊かでたくましい青少年の育成（学校教育）の点検・評価 -----	6
2. 生きがいに満ちた生涯学習の充実（生涯学習）の点検・評価 -----	14
3. 町民の活力を育む生涯スポーツ活動の充実（生涯スポーツ）の点検・評価 -----	17
4. 次世代につなぐ伝統文化の振興（伝統文化）の点検・評価 -----	18

## III 教育行政外部評価委員の感想及び意見

1. 教育委員会の活動について -----	19
2. 学校教育の分野について -----	19
3. 社会教育の分野について -----	19

## IV 資料

1. 金山町教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価要綱 -----	20
2. 点検・評価内容 -----	21
3. 教育行政外部評価委員会 -----	21
4. 法的根拠 -----	21

# I 教育委員会の活動状況

## 1 教育長及び教育委員と任期（令和7年1月1日現在）

職名	氏名	委員番号	教育委員の任期
教育長	押部 秀隆		令和6年8月1日～令和9年7月31日
委員	大竹 勤	1番委員	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	小沼 優	2番委員	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	渡部 佳恵	3番委員	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委員	渡邊 明美	4番委員	令和6年10月1日～令和10年9月30日

## 2 教育委員会の開催状況

	定例会	臨時会	計
開催回数	12回	1回	13回

※ 町教育委員会規則により、定例会は、原則として毎月1回開催し、必要かつ緊急を要する場合は、臨時会を開催することになっている。

## 3 教育委員会の開催日及び審議内容

月	日	曜	種別	議案番号	件名(内容)
4	26	金	第5回定例会	その他の協議① その他の協議② その他の協議③	○金山町立小学校及び中学校条例の一部改正について ○令和6年度川口高校学生寮の状況について ○令和5年度教育委員会点検・評価について
5	31	金	第6回定例会	第9号 その他の協議① その他の協議② その他の協議③ その他の協議④ その他の協議⑤	○令和6年度金山町一般会計補正予算について ○令和5年度教育委員会点検・評価報告書について ○令和6年度金山町の教育について ○令和6年度金山町教育委員会要覧について ○東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会及び定期総会について ○福島州市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会について
6	28	金	第7回定例会	第10号 第11号 その他の協議① その他の協議② その他の協議③	○金山町学生寮規程の改正について ○金山町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について ○金山町教育長の任命に関する同意について ○東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会及び定期総会について ○福島州市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会について
7	19	金	第8回定例会	第12号 第13号 第14号	○令和7年度使用小学校教科用図書の採択について ○令和7年度使用中学校教科用図書の採択について ○地域一体型ふるさと教育事業支援に関する規則の一

				第15号 その他の協議①  その他の協議②	部改正について ○金山町教育支援委員会委員の委嘱について ○福島県市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会について ○金山町いじめ問題対策連絡協議会について
8	29	木	第9回 定例会	第16号 第17号 その他の協議① その他の協議②	○金山町社会教育委員の委嘱について ○令和6年度金山町一般会計補正予算について ○各種大会の結果について ○教育委員学校訪問について
9	27	金	第10回 定例会	その他の協議①  その他の協議② その他の協議③ その他の協議④ その他の協議⑤  その他の協議⑥  その他の協議⑦	○金山町教育委員会委員の任命に関する議会の同意について ○金山町教育委員会教育長職務代理者の指名について ○各種大会の結果について ○教育委員の学校訪問について ○令和6年度市町村教育委員会連絡協議会両沼支会秋季総会について ○令和6年度市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会について ○令和7年度東北六縣市町村教育委員会連合会研修会について
10	30	水	第11回 定例会	その他の協議① その他の協議② その他の協議③  その他の協議④	○教育委員学校訪問の結果について ○金山町総合教育会議の開催について ○令和6年度市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会について ○令和7年度市町村教育委員会連絡協議会両沼支会春季総会について
11	28	木	第12回 定例会	第18号 その他の協議①	○令和6年度金山町一般会計補正予算について ○金山町総合教育会議の結果について
12	25	水	第13回 定例会	その他の協議①  その他の協議② その他の協議③	○令和6年度第2回金山町教育行政外部評価委員会について ○第44回金山町の教育を語る会について ○第41回私の言いたいこと発表会について
1	23	木	第1回 定例会	その他の協議① その他の協議②  その他の協議③ その他の協議④ その他の協議⑤	○かねやま小学校の開校に向けて ○令和7年度川口高等学校入学生の学生寮入寮志望状況について ○第44回金山町の教育を語る会について ○第41回私の言いたいこと発表会について ○令和6年度金山町立学校卒業式について
2	27	木	第2回 定例会	第1号 第2号 その他の協議①  その他の協議② その他の協議③	○令和7年度金山町一般会計予算について ○令和6年度金山町一般会計補正予算について ○令和6年度教育委員会点検・評価報告書（原案）について ○令和7年度川口高等学校入学生の志望状況について ○町立小学校卒業式・閉校式について

3	4	火	第3回 定例会	第3号 第4号 第5号	○金山町立小学校長人事について ○金山町立小学校教頭人事について ○金山町立中学校教頭人事について
3	25	火	第4回 臨時会	第6号 第7号 第8号 第9号 第10号 第11号 第12号 第13号 第14号 その他の協議① その他の協議② その他の協議③	○金山町立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について ○金山町社会教育指導員設置等に関する規則の一部改正について ○招致外国青年就業規則の一部改正について ○金山町社会教育委員の委嘱について ○金山町沼沢公民館長の任命について ○金山町公民館運営審議会委員の解任について ○金山町公民館運営審議会委員の委嘱について ○金山町文化財調査委員の委嘱について ○金山町スポーツ推進委員の委嘱について ○令和7年度金山町教職員人事異動について ○令和6年度金山町教育委員会点検・評価について ○今後の教育委員会の予定について

#### 4 令和6年度 教育委員の主な活動 (教育長のみの行事、活動は省略する。)

月	日	主 な 行 事 ・ 活 動	備 考
4	2	教職員着任式	3階大会議室
4	8	金山町立小学校入学式	各小学校
5	31	県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会春季総会・研修会	柳津町役場
7	12	東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	山形市
8	15	令和6年度金山町二十歳のつどい	3階大会議室
9	3	金山町いじめ問題対策連絡協議会	1階会議室
10	23	県市町村教育委員会連絡協議会両沼支会秋季総会・研修会	三島町交流センター
10	30	教育委員会学校訪問	各小中学校
11	8	市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修会	南会津町御蔵入交流館
11	28	第1回金山町総合教育会議	1階会議室
2	16	第41回私の言いたいこと発表会	ゆうゆう館
2	18	第44回金山町の教育を語る会	3階大会議室
3	13	金山中学校卒業証書授与式	金山中学校
3	21	金山小学校卒業証書授与式・閉校式	金山小学校

	横田小学校卒業証書授与式・閉校式	横田小学校
--	------------------	-------

## 5 教育委員会広報活動

- (1) 広報かねやま…………… 随時、生涯学習や教育委員会活動関係記事の記載
- (2) お知らせ文書…………… 随時、行事開催や事故防止等

## 6 教育委員会事務局体制

- 教育次長 1、教育係長 1、教育係 3、栄養士 1、社会教育指導員 2 の計 8 名

## 7 活動の反省と今後に向けて

### (1) 教育委員会について

教育委員会は、定例会臨時会を含めて年 1 3 回開催してきた。内容については規則、予算や人事に関する議案の協議が中心であったが、ほかに小中学校の学校教育での学力向上や教育支援、若桐寮・学校寮についての問題等、多方面にわたる協議や情報交換を図ってきた。

### (2) 小学校の統合について

小学校の統合問題については、平成 2 1 年度に中学校が統合され、その後、小学校も統合するという答申が出されていたが、地区の反対が強く統合は見送られて来た。それから 1 5 年が経過し、状況も大きく変化していることから、令和 4 年度の総合教育会議の中で統合について検討された。

令和 4 年度の 1 月に「小学校統合に向けた教育委員会の基本的な考え方」「金山町立小・中学校統廃合に関する基本構想・基本方針」を示し、2 月にアンケートを実施し、小学校保護者や住民に説明会・意見交換を行ってきた。令和 5 年度の 9 月議会に小学校統合の議案を提出し、議決していただき、令和 7 年 4 月 1 日からの統合が決定した。

令和 5 年 1 0 月には、「金山町立小学校統合準備委員会」を立ち上げ、2 1 回の準備委員会を開催し、学校名を「かねやま小学校」とし校歌や校章を決定した。また、学校経営部など 5 つの部会を立ち上げ部会ごとに進め、令和 7 年 4 月の開校に向けて児童が希望をもって学校に通えるよう、諸準備を進めている。

統合後は、統合してよかったと児童保護者はもちろん住民の皆さんにも感じていただけるようにしたい。

### (3) 新型コロナ感染症対策について

新型コロナ感染症については、令和5年5月に2類から5類への移行となった。学校生活の中での多くの制限もなくなり、コロナ以前の状態に戻すことができ、元気にのびのびと生活できるようになった。しかしながら、町内での感染や学校での感染は見られたので、感染拡大対策は今後も継続し、注意していかなくてはならない。

### (4) 学校教育について

学力の向上については、全体的には良好といえるが、学力差も学年が進むに伴って大きくなっており、教科によって課題も出てきている。「全国学力テスト」「ふくしま学力テスト」等の結果を分析し、一人一人の陥没点を明らかにすることにより改善を図りたい。何よりも極少数人数の中、一人一人の伸びをつかむことのできる「ふくしま学力テスト」は有効と思われるので、各学校の指導に生かしていきたい。

I C T機器の活用については、指導員を配置していることにより、先生方の活用が進んでいる。具体的な授業での活用についても、指導を受けることができるので、先生方のI C T機器の活用能力が高くなっている。また、タブレットについては、故障や老朽化も進んでいる。今年度は、児童生徒分と教員分について、新しいタブレット端末を配置することができた。今後は、いつでも使えるように進めていきたい。

授業の改善については、授業研究などでは試みられてはいるが、なかなか教師主導の授業から児童生徒主体の授業への改善は進んでいない。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて努力を続けることが大切である。

### (5) 今年度の事業について

中丸城跡登山道整備については、地区の強い要望を受け令和4年度設計を実施した。令和5年度から6年度にかけて工事を行い、登山道の整備や周辺整備として駐車場、看板設置、眺望確保のための立木の伐採を行った。

旧五十島家住宅の屋根葺き替え工事については、昨年度実施の予定だったが、入札が不調に終わり実施することができず、今年度全面葺き替えを行った。今後は、旧五十島家住宅の特徴などを住民や観光客等に広く周知し、文化財への関心を高めたいと思う。

自然教育村会館の活用・活性化については、「過去を知る」「未来を創る」「交流する」事業を行い、民具整理ワークショップ、会館周辺の周遊ルートづくり、まちづくり映画観賞会、おくあいづ金山手づくりマルシェへの支援を実施した。その事業内容を基に報告書としてパンフレットを作成する予定である。

## II 教育委員会重点施策点検・評価

### 【基本目標1. 郷土を担う個性豊かでたくましい青少年の育成（学校教育）についての点検・評価】

※ 評価は、次の4段階とする。

A＝大いに達成 B＝達成に近い C＝達成まで努力を要する D＝達成まで大いに努力を要する

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
1	確かな学力の育成	(1)少人数のよさを生かした授業を推進し、確かな学力の定着を図る。	① 金山町学力向上推進会議の推進 ② 基礎的・基本的な知識・技能の習得 ③ 思考力・判断力・表現力の育成 ④ 主体的に学習に取り組む関心・態度の育成 ⑤ 各校の現職教育の充実 ⑥ 町指定による研究推進 ⑦ 小・中・高連携事業の推進・授業研究会	○ 一人一授業の互見授業などの研究を行い、深めることができた。 ○ 町小中高連携授業研究会に向けて、計画的に研究を推進した。研究会では、指導法等について協議や情報交換を行った。さらに川口高校と町立学校の連携を進めたい。 ○ 「学びの18年」を柱に「主体的に学習に取り組む態度」や「思考力・判断力・表現力の育成」に努めている。	B
		(2)個に応じた指導に努め、個性の伸長を図り自分に自信の持てる子どもを育成する。	① 自信と誇りに繋がる真の力を身につける個への対応 ② 競い合いや切磋琢磨など学び合う場と機会の設定 ③ 一人学びの時間の確保 ④ 個人カルテの作成と活用	○ 学力検査の結果や日常の授業より個々の達成度や意欲、理解の度合いをきめ細かくみとり、授業実践につなげた。 ○ 授業やコンテスト等の諸活動を通して、自己肯定感を高め達成感や成就感を味わせることができた。 ○ AIドリルを使い、個に応じた指導ができた。 ○ 支援員の採用によって、誰もが安心して学べる場になっている。 ○ 各種コンクールに積極的に参加し、好成績を残した。	A
		(3)家庭との連携による家庭学習の習慣化を図り、主体的な学習態度を育成する。	① 学校だより、学年だより、授業参観、学級懇談などを通しての学校での学習と家庭学習との関連 ② 学習の手引き「みかぐら」の活用 ③ 家庭学習に関する教育相談（学習カウンセリング）	○ 授業参観や学年懇談等で授業と家庭学習との関連を意識させ、学校・学年だより、HPのブログで学校での児童の学習状況などの情報を保護者に提供することができた。 ○ 年度当初に「みかぐら」の活用を説明した。定期的に活用機会を設ける必要がある。 ○ 学習評価アンケートでは、家庭学習に関する評価が低く、授業と家庭学習の関連を意識させるとともに家庭への啓発を継続する。	B
		(4)学力テスト等の分析と活用を図る。	① 全国学力・学習状況調査 ② ふくしま県学力調査 ③ NRT学力テスト	○ 両学力調査ともに、結果の分析と今後の実践について全員で協議する場を設け、共通理解を図った。 ○ 現職教育で両学力調査問題を実際に解き、出題の意図や今後の指導の仕方について共通実践を図った。 ○ 両学力調査の結果をその都度分析し、教科ごとに指導方法の工夫改善を行った。	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
		(5) 新学習指導要領に基づいた教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生きて働く「知識・技能」の習得</li> <li>② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成</li> <li>③ 学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等の涵養」</li> <li>④ 「主体的・対話的で深い学び」の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に考え、対話することによって、考えを深めたり広げたりできるような授業展開に努めた。</li> <li>○ 現職教育を中心に、互見授業を取り入れ、授業改善に努めた。少人数であるため、対話的な学びや表現力育成には課題が残った。</li> <li>○ 教科によっては免許外での指導を余儀なくされ、指導の格差が懸念される。</li> <li>○ 良い社会人になるため、広い社会に出て、自分で考え、より良く行動できる人づくりを目指したい。</li> </ul>	B
	〈特別支援教育〉	(6) 特別支援教育の研修を深め、個別支援教育指導計画の作成・活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 特別支援教育研修の機会の設定</li> <li>② 個別支援計画の作成と実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別な支援が必要な児童について、個別の教育支援計画や個別の支援計画を保護者やSCと連携して作成し職員間で理解を図った。</li> <li>○ 児童によっては対応に苦慮する場面もあったが、支援員の存在は大きい。今後も継続配置をお願いしたい。</li> </ul>	B
		(7) 全職員共通理解のもと、心身に障害や学力不振等のある児童生徒については、個別指導計画を作成し、個に応じた指導にあたる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内支援委員会の定期的な開催</li> <li>② ケース会議の開催</li> <li>③ SC、SSW、巡回指導員の活用</li> <li>④ 関係機関、保護者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内支援協議会を定期的で開催するとともに、必要に応じてケース会議を開いた。保護者やSSW、SC等の関係機関と連携を図りながら進めることができた。</li> <li>○ 家庭との連携を密に支援を行うことができた。</li> <li>○ SCの訪問・相談を月1回定期的に行い、保護者・児童にも印刷物で周知した。</li> </ul>	A
2	豊かな心を身につける	(1) 自然との関わりや地域の人々との交流等により、自分・他者・社会・自然を大切に育つ豊かな心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校教育活動全体を通して自然に触れる活動の推進</li> <li>② 町の諸行事への積極的参加</li> <li>③ ボランティア活動、施設訪問等の定期的計画の推進 (ふるさと教育の充実と重複もある。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林環境学習として、前山登山と製材所訪問、木工作品製作を実施した。また、湖水まつりや横田デイサービス、かねやまホームへの訪問を積極的に参加できた。</li> <li>○ 職業体験や資源回収等に参加し、地域と交流する機会を設けた。</li> <li>○ スキー教室の参加を通して、自然や地域との関わりをもち、他者・自然を大切に育つ心を育てた。</li> <li>○ 町内ボランティア活動を年2回行った。</li> <li>○ 金山町だけでなく奥会津7町村の人材を活用した交流を考えてほしい。</li> </ul>	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
		(2)「金山町いじめ防止基本方針」に基づき、不登校・いじめの絶無に向けた取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① いじめ問題対策協議会の実施</li> <li>② 定期的な教育相談、チャンス相談、ケース会議、アンケートの実施</li> <li>③ スクールカウンセラー（SC） スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的なアンケートや教育相談を実施し、不登校0、いじめ・いじめ見逃し0の達成に努めた。SCと全校児童のカウンセリングを実施し、さらにSCの来校を月1回定期的なものとし、相談の窓口を増やした。</li> <li>○ 生徒指導委員会で生徒指導の方針の確認と情報交換を行い、共通理解のもとに指導することができ、新たな不登校やいじめの未然防止につながった。</li> <li>○ SCや町保健師、町保健福祉課、SSWなどと保護者と連携することで長期欠席にならないなど効果的に連携が図れた。</li> </ul>	A
		(3)特別の教科道徳の授業の充実を図り、心の健康、思いやりや命を大切にすることを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各教科等との関連を図った道徳年間指導計画の工夫</li> <li>② 道徳授業年間35時間の完全実施と充実</li> <li>③ 友達のよさを見つけ、認め合う活動の場と機会の設定</li> <li>④ 命を大切に単元の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画に基づいて授業を実施し、量的確保はできている。今後は「考えて議論する」など質的転換に向けて改善を図る必要がある。</li> <li>○ 評価についてはさらに研修が必要である。</li> </ul>	B
		(4)子どもの読書活動を推進し、豊かな感性を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 読書タイムの設定</li> <li>② ブックチャレンジ、ビブリオバトル等の実施</li> <li>③ 読み聞かせの実施</li> <li>④ 新刊図書購入</li> <li>⑤ 図書紹介の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブックウォーク、ブックビンゴ、本の福袋の作成や紹介など充実した読書活動になった。</li> <li>○ 朝の読書時間で読書に親しむ習慣を培った。</li> <li>○ 今後司書補を配置することで、読み聞かせや図書館運営の充実、ビブリオバトルの実施を図りたい。</li> </ul>	A
		(5)あいさつ運動を通して、明るい学校作りを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① あいさつのよさや価値の理解</li> <li>② 教科、道徳、特別活動などの学校教育のあらゆる場や機会を捉えたあいさつの励行</li> <li>③ 下校後の家庭や地域社会におけるあいさつの実践化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 折に触れ、あいさつの大切さについて啓発をしているが、日常の実践において物足りなさを感じる。今後も、爽やかなあいさつができるよう継続的に呼びかけたい。</li> <li>○ 登下校時の校長室や職員室へのあいさつ、下校時の全校生でのあいさつ、全校朝の会など教育活動のあらゆる場面であいさつすることを習慣化していきたい。</li> <li>○ 児童生徒は地域の人に進んであいさつをする姿が見受けられる。</li> <li>○ 「こんにちは」「さようなら」だけでなく、「ありがとう」も、心から言えるようになってほしい。</li> </ul>	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
3	健康な体の育成	(1)保健体育の授業や課外活動の充実を図り、運動能力の向上やスポーツに親しむ心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新体力テストによる児童生徒の実態把握と体力向上</li> <li>② 教科体育、部活動、大会、記録会、業間活動における運動の楽しさとチャレンジ精神の体得</li> <li>③ 特色ある各学校の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・金山小学校（年間を通した業間運動タイム）</li> <li>・横田小学校（運動タイム）</li> <li>・金山中学校（パワーアップタイム）</li> </ul> </li> <li>④ 保健だよりの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の実態を把握し、体力作りの一環として年間を通して、朝の運動を実施している。記録会を実施し、毎日の取組に目標をもたせるようにしている。</li> <li>○ 月1回保健だよりを発行し、心身の健康の保持増進を啓発している。</li> <li>○ 新体力テストで実態把握をし、保健体育の授業や全校駅伝、部活動等計画的に体力向上に努めた。</li> <li>○ 中学校に保健体育の町雇用講師の配置があっても良かったのではないかな。</li> </ul>	A
		(2)交通事故防止や身の危険の回避など、安全な生活の基本を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防犯教室、交通教室、避難訓練の実施</li> <li>② 学校行事における危険箇所や危険行為についての指導の充実</li> <li>③ 連休や長期休業前の重点的な指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駐在所や消防署の協力により計画通り実施した。校内に潜む危険については、授業や委員会発表で啓発を行った。</li> <li>○ 教育計画に沿って児童が自分の身を守り安全な生活習慣を身に付けられるよう指導した。</li> <li>○ 今年度は地域防災訓練への参加により防災への理解を深めた。結果として交通事故等を防ぐことに繋がっている。</li> </ul>	A
		(3)学校給食を中心とした食育の充実と家庭との連携による「早寝・早起き・朝ご飯」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校医、学校歯科医、保健師、PTA代表による学校保健委員会の開催</li> <li>② 給食指導の充実</li> <li>③ 給食だよりの発行</li> <li>④ 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進</li> <li>⑤ 食育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町学校保健委員会を開催し、現状より学校・家庭の役割を確認した。また、県の朝食を見直そう週間にあわせ、養護教諭や保健委員の児童による啓発活動を行い、期間中の摂取率は100%であった。</li> <li>○ 養護教諭、栄養技師による指導を、年間を通じて計画的に行い、保健指導や食育を充実させた。</li> </ul>	A
4	ふるさと教育の充実	(1)郷土の自然・歴史・文化等にふれる活動を通して、郷土のよさを理解し、郷土を大切にすることを育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 金山町の自然、歴史、文化、産業に関わることができる「ふるさと教育」の推進</li> <li>② 地域の行事への積極的参加</li> <li>③ 地域の文化財に触れる活動の推進</li> <li>④ 地域の人との交流</li> <li>⑤ 金山町の特産物を使ったものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米・野菜作りや昔語りを楽しみ、地域の商店や工場、施設を訪問して、地域の住民の協力を得て地域を知り良さを味わう活動をした。</li> <li>○ 沼沢湖でのSUP体験を全校生で行い、金山町の自然を生かした活動ができた。</li> <li>○ 社会科では講師の指導の下、町重要文化財の鮭立の磨崖仏について学んだ。</li> <li>○ 職業体験や資源回収、各種地域イベントへの参加を奨励した。生徒は主体的に、地域と交流することができた。</li> <li>○ 金山産の材木を使ったもの作りや地域で活躍している方を学校に招いて、講演などを通して郷土のよさを感じる機会作りに取り組んでいる。</li> </ul>	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
		(2) 地域に支えられるだけでなく、積極的に地域と関わり、成果を発信し、地域に貢献しようとする児童生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域との合同運動会の開催</li> <li>② 学習発表会や金中祭での発表</li> <li>③ 私の言いたいこと発表会の推進</li> <li>④ 模擬議会の取り組み</li> <li>⑤ 総合的な学習の時間の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動会は、地域の方々との観覧をフリーにして、参加できる競技等を複数準備した。</li> <li>○ 合同運動会は、中学生、地域の方に参加を呼び掛け多くの方に参加いただいた。横小まつりでも、来賓の方や地域の方に、最後となる全校劇や学年発表で学習の成果を元気な演技や発表を見ていただくことができた。</li> <li>○ 運動会の際、部活動優先でなく中学生の協力・参加があれば良かった。</li> <li>○ 「町長さんに質問する会」を開催し、地域の課題を主体的に捉えさせた。</li> </ul>	A
		(3) 地域の素材の教材化を進め、地域の人材の積極的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域に残る歴史遺産の教材化</li> <li>② 「わたしたちのふるさと金山町」の活用</li> <li>③ 地域の人材の積極的な活用 稲作体験、ブナ林観察、書写指導、スキー指導、木工作品作り、森林学習等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちのふるさと金山町」は内容が古くなり、金山の今を知り、学習するには活用が難しい。</li> <li>○ 稲作体験、昔語り、木工教室、餅つき体験、上学年の書写指導など地域の方々に教えていただきながら学ぶことができた。</li> <li>○ キャリア教育講演会で、地域の方に講演をしていただき、地域のよさや課題について理解を深めるとともに、自分の将来の生き方について考えを深めることができた。</li> <li>○ 毎年定例化して、幅広い地域人材との交流や教材開発が必要と思われる。</li> </ul>	B
		(4) 特別養護老人ホーム等との交流やボランティア活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① かねやまホームや横田デイサービスセンターへの訪問交流</li> <li>② 中学校における除雪ボランティアや職場体験</li> <li>③ 通学路クリーン活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かねやまホームへの訪問や職員の方々をお招きし、福祉について学ぶ機会を設けた。</li> <li>○ 横田デイサービスの方々に、子どもたちの発表を見ていただくことができた。</li> <li>○ 除雪ボランティアや地域の清掃活動を行い、地域に貢献し交流する機会を設けて生徒の育成に努めた。</li> </ul>	B
		(5) 開かれた学校づくりに努め、地域との連携を一層高め、児童生徒の地域行事への積極的な参加や人的交流を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校教育活動の公開(学校行事や授業の参観)</li> <li>② 校長・教頭を始めとする教職員の地域行事への積極的な参加</li> <li>③ 児童生徒のPTA行事や地区行事への積極的な参加の呼びかけ</li> <li>④ 学校だより等の配布を地域社会まで拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校だよりを月1回ペースで発行し、地域にも回覧・配付した。学校ホームページを活用した情報発信に努めた。</li> <li>○ 資源回収は春、秋2回実施し、児童や中学生も参加して活動することができた。</li> <li>○ 授業参観や文化祭、学校へ行こう週間を活用し、開かれた学校づくりに努めた。</li> <li>○ ふくしま駅伝への参加を積極的に促し中学生が選手で参加した。</li> <li>○ 学校だよりを町民全体で見ることができているので学校理解につながっている。</li> </ul>	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
5	情報化・国際化教育の充実	(1)電子黒板、コンピュータ等のICTの有効活用を中心に、情報化に対応する教育を推進する。	① 各教科指導における日常的な活用 ・電子黒板の活用 ・タブレット端末の活用 ② 児童生徒の情報活用能力の育成 ・情報リテラシーの推進 ・研修や講習会の実施 ③ ICT機器等の適正な管理及び運用	○ タブレット端末を有効に活用した授業が増え、オンラインでの交流も実施した。 ○ ICT支援員のサポートで、タブレットや電子黒板の授業を積極的に活用した。 ○ 情報モラルについて、外部講師の活用及び日頃の教育活動において指導している。 ○ ICT機器に関する研修を通して、より効果的な活用を図りたい。	B
		(2)小学校の英語教育の導入に伴い、ALTや地域の人材を活用し、英語や国際理解教育を推進する。	① 小学校におけるALTを活用した外国語(英語)活動の実施 ② 中学校英語科でのALTの有効活用	○ ハロウィンやクリスマスなど、外国の行事に関することを、担任とALTが協力しながら実施し国際理解教育に取り組むことができた。 ○ 学校行事等などの様々な教育活動をALTと生徒がともに行うことで、国際理解教育に繋がっている。	A
6	SDGsの取り組みの推進	(1)各教科や学校教育全体で、SDGsに関連のあるものを意識的に取り上げることにより、SDGsに関心を持ち、持続可能な社会の作り手になるようとする意欲・態度を育成する。	① 各教科、総合的な学習の時間でのSDGsとの関連 ② 学校行事、児童会生徒会等でSDGsについての取り上げ ③ SDGsに繋がる具体的な活動の実践	○ SDGsの目標と学校の教育活動は従来から密接なつながりがある。いかに意識して提示し活動に結びつけるかを工夫する必要がある。 ○ 委員会活動として、学校全体で節水や節電を呼びかけて取り組んだ。 ○ SDGsについて教科の年間指導計画との関連を図り、学校教育活動全体で指導している。 ○ 環境問題については、理科や社会科で実施した。その他の場と機会を活用し、理解を深めさせたい。 ○ 実施している情報を町内に広報してほしい。	B
		(2)環境教育の指導計画を作成し、学校全体で取り組む。	① 環境教育とSDGsとの関連 ② 生活科、理科、社会科、総合的な学習、学校行事、児童会、生徒会活動等への環境教育の位置づけ ③ 実践に結びつく指導計画の作成	○ 学校農園、学校花壇を中心に環境教育に取り組んだ。次年度はSDGsとの関連を考慮し、環境教育計画を見直し、実践したい。 ○ 環境教育の指導計画を見直すことで、教育活動全体の中で実践できるようにしたい。	B
		(3)「ふくしまゼロカーボン宣言」事業参加など、学校独自の具体的な活動を通して持続可能な社会を実現しようとする意欲を高める。	① 「ふくしまゼロカーボン宣言」への参加 ② 森林教育の実施(ブナ林や間伐材の学習) ③ 放射線教育指導資料「あとむくん」の活用 ④ 資源回収の実施 ⑤ 省エネへの意識と実践の呼びかけ	○ 前山登山や地域人材の協力による見学や木工作品製作等を行うことができた。 ○ 自然に親しもうの活動や木工教室を実施し、森林教育の充実を図ることができた。 ○ 春と秋の2回、資源回収ができた。 ○ 節水や節電の省エネルギーを呼びかけた。さらに日常生活の中で実践を図りたい。 ○ コミュニタンにおいて放射線教育を行っている。	B

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
7	学校・家庭・地域社会の連携	(1) 学校活動全体を通して、家庭・地域との連携を図り、児童生徒の健全育成に努める。	① 学年通信等の発行 ② 学校行事の地域との連携 ③ 青少年健全育成町民会議との連携 ④ 「私の言いたいこと発表会」への参加	○ 地区と連携を図り、除草活動や奉仕作業を行った。 ○ 学校だよりや学年通信を発行し、定期的にホームページを更新して積極的に学校の様子を発信した。今後は、ホームページへの集約も検討したい。 ○ 私の言いたいこと発表会の内容がまとめられて、町民全体に読まれるようになってよい。	A
		(2) 家庭との連携により、児童生徒一人一人の生徒指導の充実に努める。	① 学校だより、学年通信などの活用 ② 学級懇談、三者面談等の実施 ③ 家庭訪問の実施 ④ 連絡ノートの活用	○ 学校だより、学級だよりを通して、学校の様子を伝えて協力をお願いしてきた。 ○ 授業参観や保護者会、個別面談等をして家庭との連携を図り、情報を共有した。	A
		(3) 開かれた学校づくりに努め、地域行事等に積極的に参加し、地域の一員としての意識を高める。	① PTA活動奉仕作業、PTA活動への積極的参加 ② 湖水まつり、ごつつおまつり、文化祭、雪まつり、資源回収等地域行事への参加 ③ 地域ボランティアへの協力	○ 児童、保護者だけでなく、地域の方にも多く参加していただき、奉仕作業を行うことができた。意識の高さを感じる。 ○ 町のイベントである湖水まつりや地区文化祭にも協力して参加して地域の方々に喜んでいただいた。 ○ 資源回収を意欲的に行い、地域の一員としての意識を高めることができた。 ○ 少ない人数ながら地域行事に積極的に参加していると感じられる。	A
8	家庭への経済的支援	(1) 地域一体型ふるさと教育事業を通して、家庭への支援の充実に努める。	① 給食、入学準備、修学旅行、教材等、教育に係る費用の支援 ② 中学生、高校生への各種検定料の支援 ③ スキーリフト代の支援 ④ 部活動支援	○ 金山町ならではの大変手厚い支援を受け、行事や各種検定など教育活動がとても充実している。他市町村にはない支援であるので、学校としても保護者に広報したい。 ○ 部活動の地域移行について、近隣町村とも連携を図りながら受け入れ態勢を構築していく必要がある。	A
		(2) 地域一体型ふるさと教育推進委員会の活性化を図り、新たな事業の検討を進める。	① 地域一体型ふるさと教育推進委員会の定期開催 ② 学力向上支援事業 書道教室、天体教室、森林学習、パソコン教室、夏休み学習塾 ③ 体験学習事業 ④ スポーツ講習会事業 水泳、陸上、バドミントン ⑤ 地域みらい留学事業 ⑥ 高校企業説明会	○ 夏休み学習塾や書道教室など、さまざまな活動を企画、実施していただき子どもたちが地域の中で地域の方々とふれあい、多様な経験をすることができた。 ○ 町教育委員会及び町当局には学校の意向を踏まえながら、各事業を展開していただいている。 ○ 今後も意思疎通を図りながら推進するとともに、学校行事とは切り分けることで教職員の負担軽減に繋げたい。	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
9	県立川口高等学校への支援	(1)川口高校の魅力向上に協力し、学校の教育活動や生徒募集等について、川口高校や関係機関との連携を深め、支援に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 町教育委員会による桐径会専門委員会事務局担当</li> <li>② 会津域内関係市町村教育委員会及び各中学校訪問による川口高校のPR</li> <li>③ 友好都市・埼玉県羽生市と埼玉県鴻巣市の各教育委員会及び各中学校訪問による川口高校のPR</li> <li>④ 福島県教育委員会との懇談を通じた川口高校の本校存続への取り組み</li> <li>⑤ 中高連携の事業を通じた川口高校の魅力発信</li> <li>⑥ 桐径会を通して、教育活動、寄宿舎運営、通学等に係る財政的な支援（補助金の交付）</li> <li>⑦ 町営の若桐寮の運営管理（平成26年4月1日開始）</li> <li>⑧ 地域みらい留学プロジェクトへの参加支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係の皆様のご尽力と川口高校生の頑張りに敬意を表します。</li> <li>○ 活発にはつらつと学んでいる川口高校生の姿に感心した。</li> <li>○ 中高連携により、川口高校訪問を2学年で実施し、実際の授業を参観・参加させていただくことで、川口高校の魅力を生徒へ伝え、理解を深めることができた。</li> <li>○ 3年生を対象とした体験入学への参加を、積極的に促した。</li> <li>○ 休日の過ごし方や部活動に入部していない生徒をもっとサポートしてはどうか。</li> <li>○ 様々な支援が県内外から川口高校への入学希望につながる効果が出ていると感じる。</li> </ul>	A

## 【基本目標2. 生きがいに満ちた生涯学習の充実（生涯学習）についての点検・評価】

※ 評価は、A B C D の4段階

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
1	中央公民館及び地区公民館活動への支援	(1) 公民館を始め、芸能伝承館、歴史民俗資料館等の社会教育施設が活用しやすいよう整備し、管理運営に努める。	① 公民館事業連絡調整会議 ② 公民館毎の運営審議会 ③ 川口公民館を除いた3地区公民館は、非常勤の館長による管理運営（沼沢は不在） ④ 会津教育事務所社会教育主事による公民館訪問を通しての施設・設備の整備と運営に関する研修	○ こぶし館内の歴史民俗資料室が物置のようだ、展示も10年以上変化がない。 ○ 山入歌舞伎は今後どうするのか。	B
		(2) 公民館ごとに地域の特性やニーズに基づいた特色ある活動を推進する。	① 各地区の公民館報の発行（本名、横田） ② 各地区文化祭（川口、横田は実施。本名、沼沢は実施せず。） ③ 各小学校運動会への協力 ④ 趣味の講座、各種スポーツ大会、展示会などの開催	○ 文化祭を初め、いろいろな行事が縮小され、地域の人の絆が薄くなっている気がします。 ○ 人口減に伴う行事見直しや運営方法の改善が必要と思われる。	B
		(3) 地域の人材を活用し、放課後子ども教室「金小ゆうがたクラブ」と「よこたふれあい教室」を推進する。	① 金小ゆうがたクラブ ・安全管理員3名配置 ② よこたふれあい教室 ・安全管理員2名配置	○ 天気の良い日は外で走り回るなど見守りだけでなく、内容の改善が必要である。 ○ 少人数でも安全を確実に推進されていると感じる。	A
2	生涯学習団体の育成と支援	(1) 町文化協会との連携を図り、各団体の支援を進め、活動の充実を図る。	① 「俳句の会」「昔語りの会」「やまひだ」「金山史談会」等文化協会の支援 ② 高齢化する各種団体への支援 ③ 新しい活動団体の創出と支援	○ 町からの支援有難いです。今後も是非。 ○ 「会」をまとめ、収縮していくことも考えてはどうか。	B
		(2) こまどり学級、こぶし学級等、町民のニーズに基づく学習の場を充実させる。	① 高齢者女性教育「こまどり学級の開催」 ② 高齢者教育「こぶし学級」の開催	○ 計画的に実施されている。 ○ 人に触れ、社会に出て行く場として、毎回の企画を楽しみにしています。 ○ そろそろ新たな取り組みをしていかないと、次の世代は参加がなくなる。	A
3	変化する学習ニーズへの対応	(1) 情報化社会に対応するため情報機器を使った各種講習会の実施や図書の実践、情報の提供に努める。	① スマートフォン、タブレット体験講習会 ② 県立図書館との連携による「あづま号」図書の利用	○ 貴重な学ぶ機会です。初心者が行きやすい点が良い。 ○ 計画的に実施されている。	A
		(2) 町民の要請に応じ、諸講演会や各種講座などの充実を図る。	① 各種講演会の実施 ② 健康づくり出前講座の実施 ③ 各種ものづくり講座の実施「マタタビ細工」等	○ 「マタタビ細工」などは、学校でも体験を取り入れてみてはどうかと考える。	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
		(3) 女性団体の活動の実態把握や支援、リーダーの養成や講座等の学習機会づくりなど、女性教育を推進する。	① 地区婦人学級 (花いっぱい運動、ゴミ減量化運動、地区婦人会自主活動など)	○ 考え方を考えていく時期と思われる。 ○ 女性団体に限らず、広い範囲で協力を呼びかけてはどうか。	B
4	青年層の取り込み	(1) 公民館や青少年健全育成町民会議等との連携を図り、青少年教育の充実を図る。	① 青少年教育として、少年少女球技大会、私の言いたいこと発表会、子ども交流会、こんにちは先輩、学習塾、こめらっこ広場、親子郷土料理教室、放課後子ども教室などの開催	○ 少人数に対して丁寧な取り組みがなされていると感じる。	A
		(2) ボランティア活動や体育的行事、文化活動等、青年層の社会的活動の場の拡充を図る。	① 青年層を主体としたボランティア活動の推進 ② 軽音楽活動、スポーツ活動等への積極的な支援	○ 青年が交流できる場どのように作るか。 ○ 青年層に限らず広い範囲での呼びかけをしてはどうかと思う。	C
5	誰もが気軽に参加できる環境の構築	(1) 運動会を始め、学校文化祭や教科指導、総合的な学習の時間における地区民の参加の機会を拡充する。	① 学校行事、授業参観等の地域への公開 ② 学習発表会、祭り、文化祭の地区への公開 ③ 地区との合同運動会の開催 ④ 学校だよりの発行と地区民への回覧実施 ⑤ 地区民との協力による奉仕作業 ⑥ 町民ボランティアによる昔語りや民具の紹介説明の実施	○ 「学校だよりの発行」等を通じて、町民全体にお知らせや呼びかけが定期的に実施されている。	A
		(2) 誰でも気軽に参加でき、楽しめる事業を積極的に計画実施する。	① 町民ウォーキング、町民登山等の実施 ② 各種展示会、趣味の講座の開催 ③ 演芸会などの実施 ④ 古文書教室	○ 人口減のため同じ趣味の方は少ない。近隣町村との相互乗り入れを考えてはどうか。 ○ 計画的に実施されている。	A
		(3) 地域のよさを理解し、地域に誇りを持つ子どもの育成のため、地域行事、イベントに対して、子どもたちの積極的な参加を勧める。	① 私の言いたいこと発表会への積極的参加 ② 球技大会、スキー・スノーボード教室、こめらっこ広場、山っ子スクールへの参加 ③ こんにちは先輩、夏休み冬休み学習塾、習い事教室等の開催と積極的参加	○ 少人数ながら計画的に実施されている。	A

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
6	生涯学習施設の充実・既存施設の利活用	(1)公民館を始め芸能伝承館、御神楽館、町民体育館、開発センター図書室等の社会教育施設の整備、管理運営に努める。	① 公民館事業連絡調整会議 ② 公民館毎の運営審議会 ③ 川口公民館を除いた3地区公民館は、非常勤の館長による管理運営（沼沢は不在） ④ 中央公民館図書室の充実と運営 ⑤ 文化協会総合発表会の開催	○ 開発センター2F・3Fロビーを有効活用すべきである。 ○ 各地区の公民館に気軽に立ち寄れる状況を作ってほしい。 ○ 町全体の高齢化により、施設の利用者は、移動手段をもった人に限られる傾向があると思われる。	B
7	学習成果の活用の促進・発表の場の創出	(1)発表会や展示会を積極的に開催し、各種活動団体の発表の場とし、活性化を図る。	① 金山町文化協会総合発表会の開催 ② 会津西部巡回美術展への参加 ③ 各地区文化祭への参加（川口、横田は実施。本名、沼沢は実施せず。） ④ 作品展示会等の開催 ⑤ 奥会津金山手しごと展	○ 本名、沼沢も文化祭やりたいですね。やり方を変えていきましょう。 ○ 計画的に実施できていると思われる。	A

### 【基本目標3. 町民の活力を育む生涯スポーツ活動の充実（生涯スポーツ）についての点検・評価】

※ 評価は、A B C Dの4段階

No	重要施策	重要事項	具体的な実選事項	反省・課題	評価
1	スポーツを通じた健康の増進と生きがいづくり	(1) スポーツ協会やスポーツ推進委員との連携を深め、町民のニーズに即した生涯スポーツ活動の充実と健康づくりを推進する。	① スポーツ協会の10の部による活動（野球・ソフトボール、バレーボール、卓球、ビーチバレーボール、テニス、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、バドミントン、ランニング、スポーツ少年団） ② スポーツ少年団の3つの部による活動（剣道、スキー、バレーボール） ③ スポーツ推進委員10名の活動 ④ 各種大会、研修会の開催 ・第31回金山町妖精の里剣道大会 ・第7回金山町妖精の里グラウンド・ゴルフ大会 ⑤ 町民ウォーキング・町民登山・スキースノーボード教室の開催 ⑥ ピラティス教室の開催	○ スキークラブ文科大臣賞受賞おめでとうございます。 ○ スポーツ協会の部の見直しが必要である。 ○ 剣道大会が今年度で終了であるが継続は難しかったのか。 ○ 少人数指導者の方の献身的な努力で、持続できていることが素晴らしいと感じる。	A
2	スポーツ団体への活動支援	(1) 町内の各スポーツ団体が十分に活動できるように環境整備に努めると共に、各種大会に積極的に参加できるよう支援する。	① 町内各スポーツ団体による大会の開催 ② 第18回市町村対抗福島県軟式野球大会への参加 ③ 第36回ふくしま駅伝へ「希望ふくしまチーム」として参加 ④ 第77回地域スポーツ大会への参加	○ 人口減少の中で大会への参加が継続できていることが素晴らしい。	A
3	新たなスポーツ活動のあり方の検討	(1) 気軽にスポーツに親しんでもらえるスポーツの推進を図る。	① 少人数でできる新しいスポーツの紹介と講習会 ② 町の体育施設のスポーツ器具や備品の充実 ③ 高齢者に合った運動の推進 ④ ピラティス教室の実施	○ ピラティス教室、介護予防体操教室は健康維持の貴重な場です。 ○ 新しいスポーツは不要でないか。 ○ ノルディックウォーキングなど背骨を伸ばして歩行できる運動はどうか。 ○ 町民全体の高齢化により参加のための移手段が難しいと感じる。	B
4	リーダーとなる人材の育成	(1) スポーツ推進委員会の活動の充実と若い人材の育成を図る。	① スポーツ推進委員会の活動の充実 ② 若い人材の発掘とリーダーの育成 ③ 青年層のスポーツの拡充	○ 青年層と限定せず、広く呼びかけてはどうか。	B
5	スポーツ施設の利活用の検討・維持改修	(1) 町民体育館、地区体育館、グラウンド等の施設を活用しやすい状態に保つための整備と管理に努める。	① 町の体育施設の管理（金山町民体育館、大塩地区体育館、御神楽館、玉梨地区体育館、大塩運動場と管理棟、中川グラウンド、水沼地区グラウンド、玉梨地区グラウンド、山入芸能伝承館、山入地区グラウンド、大塩テニスコート） ② 町営グラウンド・ゴルフ場の整備と活用	○ 草刈りや清掃などの管理が悪い。 ○ 定期的に整備されていて、活用されている。	B

## 【基本目標4. 次世代につなぐ伝統文化の振興（伝統・文化）についての点検・評価】

※ 評価は、A B C Dの4段階

No	重点施策	重点事項	具体的な実践事項	反省・課題	評価
1	文化団体の支援・育成	(1) 文化協会や文化活動団体・サークルの活動を支援し、文化活動の活性化を図る。	① 文化協会団体数18、会員数145名、事務局は社会教育指導員が担当 ② 会津西部巡回美術展 ③ 文芸誌「やまひだ」第47号の発行 ④ 第26回町文化協会総合発表会の開催	○ 「美術展」の見学者が少なかった。 ○ 「やまひだ」は、転出者同様に、町内に在住する人も作品の寄稿を呼びかけてはいかがでしょうか。 ○ 計画的に支援されている。	A
2	文化芸術にふれ、活動する機会の提供	(1) 地区文化祭、文化講演会、各種文化イベントを積極的に開催し、優れた芸術・文化にふれるなど、町民の文化活動への参加を推進する。	① 川口公民館、沼沢公民館（中止）、本名公民館（中止）、横田公民館の各公民館主催による文化祭 ② 演劇、演奏会等文化イベントの開催 ・ファミリーシアター公演 ・落語会 御神楽寄席	○ 開催できた川口・横田地区の文化祭は参加者も多くよくできたと思います。 ○ 本名・沼沢も開催してほしい。 ○ 御神楽寄席の参加者が少ないと思う。 ○ 計画的に実施されているが地域差を感じる。	B
3	文化財の保存・活用	(1) 文化財調査委員会の定期的な開催と日常活動を通じた文化財の調査と保存に努める。	① 金山町文化財調査委員は5名 ② 町文化財の調査・保存活動の推進 ③ 金山町の民具の調査 福島大学・県立博物館の協力による民具調査 ④ 文化財防火点検 ・旧五十島家住宅(中川地区) ・大悲堂(中川地区) ⑤ 道の駅「奥会津かねやま」への文化財資料の展示 ⑥ 玉縄城跡登山道の点検・整備 ⑦ 中丸城跡登山道整備 ⑧ 文化財案内板の点検・整備	○ 文化財調査委員の方が、意欲的に向き合っておられ今後に期待大です。 ○ 文化財調査委員の活用がされていないと思う。 ○ 計画的に実施されている。	B
4	後継者の育成	(1) 後継者の育成に努め、伝統文化の継承を図る。	① 各地区に残る伝統文化の保存継承と後継者の育成 ② 郷土食講習会の実施と地域の食文化の継承 ③ 各地区の伝統行事の継承 ④ ものづくり教室の推進	○ 後継者がいなくて大問題です。お盆や町の祭礼(9/5)などでは、昔ながらの地域の行事を復活できたらなと思います。 ○ 山入歌舞伎はどうなっていくのでしょうか。 ○ 可能な限り育成に取り組まれている。	B
5	文化や歴史への興味喚起	(1) 町にある文化財の新たな情報の収集や調査研究、町民への広報活動等に努める。	① 県指定文化財2、町指定文化財22の確認と台帳整理 ② 広報紙への掲載による情報発信 ③ 福島大学、県立博物館等との連携による調査・保存活動の推進 ④ 「村の肖像」プロジェクトの推進と継続 ⑤ 文化財資料「未来に伝えたい金山の宝」の活用 ⑥ 町に残る古文書等の保存計画の作成	○ 計画的に取り組まれているが、何かめばしいものに力を入れられるとよいと思う。	A

### Ⅲ 教育行政外部評価委員の感想及び意見

#### 1 教育委員会の活動状況について

- 図書の貸し出し等、いつも気軽に対応して下さい、有難いです。
- 「落語会」は、町民への周知が足りなくて観客が少なかったのではないのでしょうか。もったいないです。
- 「旧五十島家」の屋根の葺き替え御苦労様でした。せっかくの建物をもっと生かして活用できるように、今後工夫していただきたいと思います。(町民の意見を募るとか)
- もっと灯台下を見た、足下の泉を掘るような視点での事業展開をしてほしい。
- 各種事業の名称を変えたり、運営方法を見直すなど事業のブラッシュアップをしてはどうか。
- その場の教育の在り方ばかりではなく、将来の小中高のあり方を議論すべきである。
- 小学校統合がゴールでないという認識を持ってほしい。
- 土日も行事があると、準備から実施後の後片付けまで、献身的に取り組まれていていつも感心しています。

#### 2 学校教育の分野について

- 文化協会「金山棋苑」主催の囲碁、将棋大会に小学生が参加してくれました。年代間の交流があることで、継続的に輝く町になると思います。文化協会等の活動に子どもの方から参加してくれたこと、とても大きな喜びでした。
- 奥会津地域ならではの人材との交流が少ないと思われる。
- 小中学校と川口高校との協働が見えるようにしてほしい。
- SDGs に関して小中学校の取り組みが見えてこない。
- 川口高校のボランティア活動は散見するが、小中学校ではどのような活動をしているか見えてこない。
- 小学校も統合になったので、子供たちの話し合い活動もより活発なものになっていくとよいと思う。
- IT機器の活用は、外部の方を活用し、先生方の負担を減らして行ってはどうかと感じる。

#### 3 社会教育分野について

- 「金山音頭」の復活は良かったです。今後も踊る機会を多くし、町民の誰でもが踊れるように身近なものにしていきたいです。
- スポーツや文化活動と同様に「健康の維持」は町民の大きな関心事です。町主催の運動教室に加えて、公民館でも体操の会(かぼまる体操、元気出ませ体操等)を設けて、気軽に出かけ運動や交流ができるようになってほしい。
- 失くしてならない伝統芸能、文化を継承するための議論があればよい。
- スポーツ、文化施設の更新がない。管理が悪い。
- スキー教室の参加者が多い。町有施設で、あれだけ多くの人利用されてよかった。
- スポーツ少年団、各部指導者のスキルアップのための取り組みがない。
- 町民リフト・レンタル無料化、親子の触れ合いに効果が大きい。拡大すべきである。
- 町全体が高齢化しているので、あまり年齢層にこだわらない活動や支援のあり方が求められるのではないか。

# 金山町教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価要綱

金山町教育委員会

## 1 趣 旨

金山町教育委員会は、毎年度、教育委員会の事務管理や当該年度の重点施策の取り組み状況について、点検・評価を行い、より効果的な教育行政の推進に努める。

なお、点検・評価の結果については、地方教育行政の組織および運営に関する法律の定めるところにより、報告書を作成、議会に報告するとともに、公表することにより町民の理解を深め、信頼される教育行政の推進に役立てる。

## 2 実施方法

### (1) 点検・評価対象

点検・評価の対象は、当該年度の「教育委員会の活動状況」及び「金山町教育委員会重点施策」とする。

### (2) 評価期間・時期

点検・評価の期間は、当該年度とし、時期は、年度末とする。

### (3) 点検・評価者

① 点検・評価は、教育委員会事務局が行う。

② 教育委員会事務局が点検・評価を行うにあたっては「教育行政外部評価委員会」を設置し、学識経験者の意見を聴取する。

③ 学校教育の分野における取組状況のまとめについては、各学校からの評価報告を活かす。

### (4) 報告書の作成・報告

教育委員会事務局が点検・評価を実施した後、その結果を報告書に取りまとめ、教育委員会の審議・承認を得て金山町議会に提出する。

### (5) 公表

報告書は、広報誌等を通して広く町民に公表する。

## 3 教育行政外部評価委員会

(1) 教育行政外部評価委員会の委員は、別表1の委員をもって充てる。

(2) 委員の任期は、委嘱した日から1年とする。

## 4 議会への報告

(1) 報告書の内容は、「教育委員会の活動状況」及び「金山町教育委員会重点施策」とする。

(2) 報告の時期は、次年度の6月定例会とする。

## 5 点検・評価の流れ

(1) 当該年度の教育委員会重点施策の作成

(2) 施策に向けた取組み

(3) 日常の点検・評価

(4) 取組状況のまとめ（学校教育の分野については、各学校から町教委への報告資料を参考とする。）

(5) 教育行政外部評価委員会の開催と有識者からの意見聴取

(6) 教育委員会事務局における点検・評価及び報告書の作成

(7) 教育委員会の審議・承認

(8) 金山町議会（6月定例会）へ報告

(9) 町民への公表（広報誌掲載、報告書の閲覧）

## 【点検・評価内容】

### 1 教育委員会の活動状況

- (1) 教育委員と任期
- (2) 教育委員会の開催状況
- (3) 教育委員会の開催日及び審議内容
- (4) 教育委員の主な活動
- (5) 教育委員会広報活動
- (6) 教育委員会事務局体制
- (7) 活動の反省と今後に向けて

### 2 金山教育委員会重点施策

- (1) 郷土を担う個性豊かでたくましい青少年の育成(学校教育)
- (2) 生きがいに満ちた生涯学習の充実(生涯学習)
- (3) 町民の活力を育む生涯スポーツ活動の充実(生涯スポーツ)
- (4) 次世代につなぐ伝統文化の振興(伝統文化)

## 【教育行政外部評価委員会】

- 点検・評価要綱に基づき、令和6年度の教育行政外部評価委員を次の方に委嘱する。  
(別表1)

No.	氏名	性別	備考
1	山口京子	女	教育委員経験者代表
2	滝沢良一	男	学識経験者代表
3	長谷川金助	男	金山町区長会代表
4	須佐光夫	男	金山町連P代表
5	渡邊幸子	女	学識経験者女性代表

- 委嘱期間は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までとする。

## 【法的根拠】

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。